

虎屋 京都ギャラリー第 20 回企画展

2019 年 9 月吉日

知られざる複製の実力 ～コロタイプと文化財～

2019 年 10 月 26 日 (土) ～12 月 1 日 (日)

於：虎屋 京都ギャラリー (虎屋菓寮 京都一条店横)

ほうりゅうじこんどうへきが たかまつづかこふんへきが み どうかんぼく き でんみなものよりともぞう
 法隆寺金堂壁画、高松塚古墳壁画、御堂関白記、伝源頼朝像、複製だからこそ一堂に会した文化財の数々。今回ご紹介する世界で唯一の写真印画技法・多色刷りコロタイプを用いた複製は、本物の魅力を正確に伝えるだけでなく、文化財を未来に残していく役割を担っています。



(左) 法隆寺金堂壁画撮影の様子 (1935 年)



(上) 法隆寺金堂壁画 第六号壁コロタイプ (1937 年)



(下) コロタイプの印刷機とゼラチン版

○ゼラチンの皺（しわ）が決め手！？コロタイプの表現力

コロタイプは一般的な印刷と異なり写真を版に用いた版画です。「連続諧調」と呼ばれる滑らかな表現で、墨の濃淡や日本画の繊細な筆致を余すところなく再現できます。これを可能にしているのが「コロタイプ」の語源になったゼラチンの版です。

○コロタイプと文化財の未来を変えた。法隆寺金堂壁画の撮影と再現

昭和 24 年 (1949)、火災で大きな被害を受けた法隆寺金堂壁画。便利堂では戦前に原寸大で撮影しており、そのコロタイプ複製を下図に同 43 年に壁画が再現されました。これは、コロタイプの文化財保護に果たす役割が見出された出来事だったといえます。

○「陰影の美」を表現した究極の羊羹写真

文化財の表現を精緻に再現するコロタイプを用いて、究極の羊羹写真プリントを制作。谷崎潤一郎が名文「陰翳礼讃」に著わした、暗がりに沈めた羊羹の瞑想的な美しさを再現します。虎屋ならではのコロタイプをぜひ御覧ください。

このほか、現在は劣化が進んでしまった高松塚古墳の発掘当時の色鮮やかな姿を再現したコロタイプ複製や、1000 年前に栄華を極めた貴族、藤原道長の筆づかいが見て取れる「御堂関白記」の複製も展示。複製ならではの豪華なラインナップは必見です。



高松塚古墳壁画原寸大コロタイプ復元



伝源頼朝像コロタイプ複製



明治時代の虎屋京都店店頭集合写真

【協力】株式会社便利堂

便利堂は、明治 20 年(1887 年)に貸本屋として創業し、明治 38 年(1905 年)以降コロタイプという世界最古の写真印画技法を一世にわたり伝承。単色のみであったコロタイプを独自に研究し、多色刷コロタイプを日本で唯一可能にした。精緻で滑らかな表現力と高い保存性を生かし、国宝、重要文化財などの文化財の複製品などを制作している。

【展示概要】

虎屋 京都ギャラリー第 20 回企画展

知られざる複製の実力 コロタイプと文化財

期間：2019 年 10 月 26 日(土)～12 月 1 日(日) 午前 10 時～午後 5 時 入場無料

休館日：11 月 25 日(月)

場所：虎屋 京都ギャラリー（虎屋菓寮 京都一条店横）地下鉄今出川駅 6 番出口より徒歩約 7 分

展示品：コロタイプ複製(便利堂) 法隆寺金堂壁画第六号壁(部分)、高松塚古墳壁画西壁女子群像図、

御堂関白記、伝源頼朝像、蒙古襲来絵詞、女史箴図巻ほか

「陰翳礼讃」の世界を再現した羊羹写真や虎屋の古写真のコロタイププリントなど

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社虎屋 京都営業部文化事業課 京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町 400 担当：相田

電話：075-431-4736 Fax：075-431-1063 E-mail：kyotobunka@toraya-group.co.jp